

令和3年度第1回砂川市総合教育会議

○日 時 令和3年11月17日(水) 9:00～10:08

○場 所 砂川市役所 3階 市長会議室

○出席者

(構成員)	市 長	善岡 雅文
	教育長	高橋 豊
	教育長職務代理者	中村 吉宏
	教育委員	住 亮太郎
	教育委員	皆上 嘉代
	教育委員	平間 芳樹

(事務局)	総務部長	熊崎 一弘
	政策調整課長	井上 守
	政策調整課副審議監	玉川 晴久

(教育委員会事務局)	教育次長	峯田 和興
	指導参事	小林 晃彦
	学務課長	是枝 貴裕
	学務課副審議監	作田 哲也

○議事録

1. 開会

熊崎：本日は、お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。ただいまから、令和3年度第1回砂川市総合教育会議を開催します。はじめに、善岡市長よりご挨拶を申し上げます。

2. 挨拶

市長：学校統合等で忙しい日々が続いているかと思いますが、今後ともよろしく願いいたします。

熊崎：これ以降の進行については、設置要綱第4条に基づき、議長となります市長にお願いします。

市長：議題に入る前に、本会議は原則公開としているところではありますが、本日の会議については、(2)「令和3年度 いじめアンケートの集計結果について」及び(3)「令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果について」は、個人情報に関する案件であることから、非公開で行いますのでご了承願います。

3. 議題

井上：議題(1)「小中学校の適正規模・適正配置について」、教育委員会学務課 作田副審議監より説明いたします。

—作田副審議監より資料に基づき説明—

市長：ただいま(1)「小中学校適正規模・適正配置について」、教育委員会より説明がありました。それを踏まえて意見交換をしたいと思います。

市長：この調査をもとに教育委員会としてどうするのか。

教育長：調査結果は準備委員会に報告しており、準備委員会でこれらに対する意見をまとめていただいている。

市長：この結果からどうだったのか。

教育長：児童生徒よりも保護者の方が不安に思っている割合が多い。

市長：PTAの役員から各保護者に情報が伝えられているのか。

教育長：そこから伝えられていくほか、準備委員会からも各保護者に対して準備委員会ではこういうことをしているという情報は発信している。

市長：アンケート結果の「不安がある」というのは、保護者に話が行く前のことか。アンケートの結果をもとに準備委員会で色々進めていくのか。

教育長：準備委員会は先に立ち上がっていて、そこで不安を感じている人がいるかもしれな

いとして、アンケートを取りましょうということになった。準備委員会の途中でアンケートを取って、その結果を報告して、さらに付け加えるものがあれば併せて協議しましょうということ。

市長：保護者にはフィードバックされているということか。

皆上：私も説明会に参加しており、その際、バスのことや制服のこと等について受け答えをしているが、そういった話が行き届いていない方がいるので、教育委員会からお知らせのプリントを作成し、今はこういう段階でこういった話が決まっていますというのは発信している。

市長：情報は届いているということか。

皆上：はい。ただ、全ての人に配布はしているが目を通していない方もいる。

市長：私が心配するのは、情報がきちんと届いていないと変なところで論議が起きてしまって、間違っただけに行き届いていないと混乱してしまわないか、手続き上のことを心配している。やり方というより手続きをきちんとしないと、変なところで揉めていらない労力を使う。おおむね順調に進んでいるのか。

教育長：今の準備委員会の進み方で行くと、大卒では順調に進んでいる。

市長：PTA の人も入っているのか。

教育長：各校すべてのPTAが入っている。

市長：準備委員会の中で合意形成されたものがおりにいくのか。

教育長：基本計画に基づく合意形成は全て整っているもので、それに付随するものと今後出てくる細かい部分はこれからだが、スクールバスや制服、ジャージ、校歌についてはある程度目途はついている。

市長：スクールバスはどこまでやるのか。

教育長：便数、停留所の箇所数については、中学校のほうは概略をお示ししてある程度理解いただいている。

作田：統合準備委員会でのスクールバスの検討については、対象者、経路、停留箇所、便数については粗方決まっています、経路は3経路にするとか、便数は登校時には1本だが、下校時は部活動もあるので2本ないし3本ということで決定していただいている。

市長：大筋は理解いただいているということか。

作田：継続的に協議している部分もあるが、大筋は理解いただいている。

市長：PTAも含め、委員さんがある程度共通理解に立っているという考えでよいか。

作田：PTAも含めて準備委員会として合意形成は図られている。

市長：各学校のPTAは別に会議を開いているのか。

教育長：学校によっては役員会等開催していると思う。中学校のスクールバスは石中校区なので、石中、空知太、北光だけが関係している。

市長：あとからやっぱりということにはならないのか。そこまでは詰めていないのか。

教育長：基本となる登下校は大筋決まっている。あとは部活動のところ。

市長：そしたらほとんど決まっているのか。うちはPTAの理解がスムーズにしているということでしょうか。

皆上：はい。あとは一部の全く関心を持たなかったのに、最後になって関心を持って話題にする方もいるので、そういった方々に対して、私たちがこういったお知らせを重ねてきましたよというのを見える形にしていけば問題は起こってこないと思う。

市長：後でそんな話は聞いていないという人が出てきて振り出しに戻るというのを心配しているので、きめ細かい対応をしてほしい。それは行政の事務方がきちんとしていかなければならない。

教育長：各学校でもフィードバックしているが、準備委員会としても全児童生徒、保護者にフィードバックしているので、そこは必ずやるようにしている。

市長：それでも全く見ていないという人も出てくる。

皆上：ただ保護者の中でその話題になったときに、このプリントに載っていたよという話になれば落ち着くと思う。うちの子からもらっていなかったという話にもなるだろうし、決まったことをどんどんお知らせしていくというシステムを確立していきたい。すでに第1回は出しているの、これから第2回、第3回と出していきたい。

市長：それはどこから出しているのか。行政がやっているけれども、学区のPTA会長名で文書が届くのか。

作田：統合準備だよりというものを発行していて、全児童生徒を通じて保護者にも周知はしている。発信元は教育委員会の事務局となっている。

市長：そしたらある程度順調に進んでいると見ていいのか。

教育長：今は予定通り進んでいる。

市長：他にはないか。バスぐらいか。

作田：今までの統合準備委員会の中では学校名、校歌についても色々議論いただいている。

市長：新しいのを作るのでは。

教育長：中学校の統合の時には、砂川中学校のものを使う。義務教育学校についての議論はこれから。

市長：それはある程度理解されているのか。

作田：そこは議論を重ねていただいて、砂川中学校のものを基本とすることで理解いただいている。

市長：新しいのを作ったところで統合してまた変わるのであれば作る意味ないか。準備委員会の中での合意形成がほぼ全てと見ていいのか。

教育長：はい。大枠は合意いただいている。あとはここで出てくるものと予算上必要なものとの対比が必要になるかもしれない。そこは財政との擦り合わせが必要になる。

市長：統合に反対する人はあまりいないと思う。

教育長：中にはいる。100%ではない。聞く機会があったのだが、自分に関係ないと思って説明会に参加されなかった方から、統合したくないという意見がアンケートにはあったと思う。

市長：情報は開示されているが、本人が聞くのを拒否したということか。

皆上：はい。聞く機会があったのに参加しなかった。説明会の段階からスクールバスの話も出ていたし、制服についても心配事はぶつけることができた。

市長：皆様から他に何かございますか。

皆上：スクールバスや施設などのハードの問題は大体あがっていると思うが、これからもっと先にいったときに、ソフトの部分で人間関係とか生活環境の変化に対する不安を取り除くための対応というのを考えていく必要がある。

市長：統合すると環境が変わるから、そういう問題は起こってくるんだろう。

皆上：幼稚園から小学校に上がるときや高校に進学するときなど、常に環境の変化に伴う不安というのはある。

市長：乗り越えられる人と乗り越えられない人がいる。学校でどこまで拾い上げてフォローできるか。受験なども控えているので、あの年代で環境が変わるといのは大きい。

市長：以上でよろしければ、次の議題に進める。

※（2）以降は非公開